

# 栽培体験をとおして新規野菜生産者を育成

高島農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

高島地域の野菜生産の新たな担い手を募集、育成するため、高島地域農業センター、市役所、JAと共に2020年度から企画・運営している「たかしま野菜塾」では、毎年10人程度の受講者がおり、市内の篤農家のほ場見学等により野菜栽培を学ばれています。しかし、一時的にほ場を見学しているだけであり、実践的な技術習得につながっていないとの意見がありました。また、露地での栽培経験がある方は多くいますが、施設栽培を気軽に体験できる機会がないことも課題でした。そこで本年は、受講生 10 名に対し、トマト、メロンなどの施設栽培を一貫して体験する機会を提供することで、次年度以降、本格的に栽培に取り組むことができる人材を育成することをねらいとして取り組みました。

## 【普及活動の内容】

JA からトレーニングハウスとして施設を借りて、受講生と共にプランターを用いた簡易な少量土壌培地耕システムや誘引設備を設置しました。トマト、ミニトマト、メロンを栽培し、受講生各自が担当する株を決め、責任をもって管理することとしました。当課からは、座学、現地指導、SNSを用いた指導を行い、受講生自身が機会を逃すことなく管理作業ができるよう随時支援しました。



写真1 受講生皆の努力が実り収穫できたメロンとともに

## 【普及活動の成果】

特にメロンでは、美しいネットが出るアールスメロン系品種の栽培にチャレンジし、播種・育苗から定植、誘引、葉かき、人工受粉、摘果、玉吊り、病虫害防除などが受講生自身によって実施されました。時には誘引を手抜きしたばかりに枝が折れてしまったり、病虫害に悩まされたりといった紆余曲折はありましたが、全員が無事に収穫を迎えることができました。メロン果実の重量や糖度は十分な品質を備えており、受講生達は、自分の作ったメロンのおいしさに驚いていました。

各栽培品目について一連の栽培管理作業を体験し、理解を深めた受講生の中から、2名の受講生が、次年度から自身の経営で新たに施設メロンに取り組むことになりました。当課では、これらの方が確実に収益を上げられるよう、支援していきます。

### ◎対象者の意見

実践的な内容で、やりがいがあった。こんなおいしいメロンを自分で作ることができるというのが驚きで、ぜひ自分でも取り組みたいと思いました。(受講生)